

2022年度 「卒業時修得してきたい力」 アンケート集計結果

教務委員会

アンケート対象者：2022年度卒業生 73名

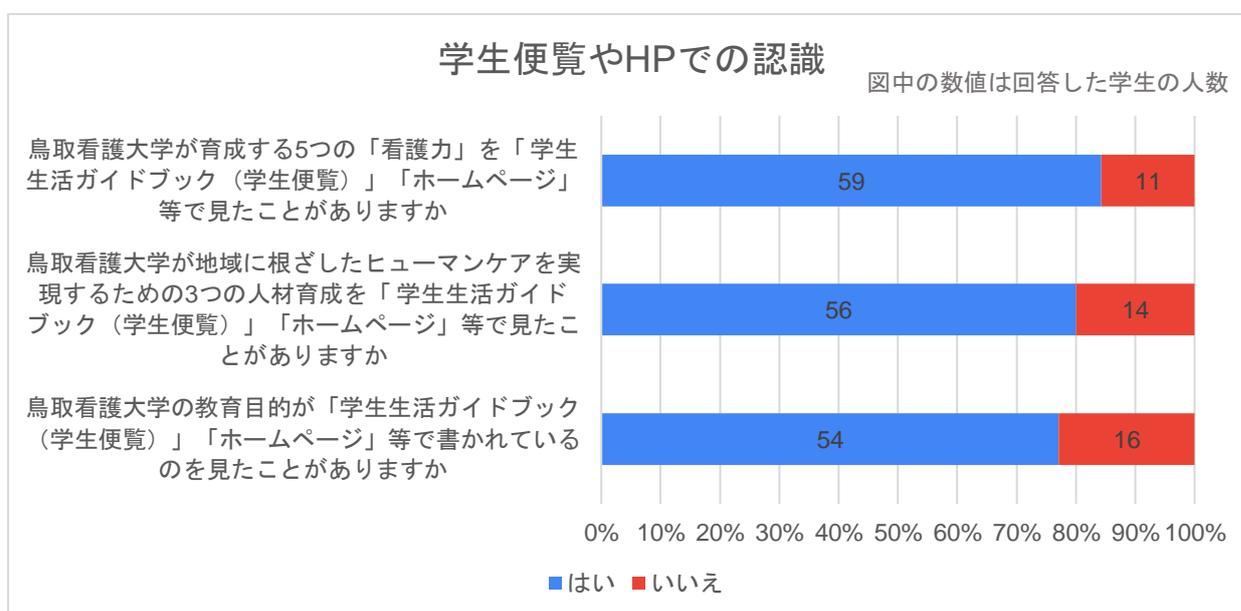
アンケート実施期間：2022年3月3日（免許申請説明会当日）～3月9日

収集方法：Google Formsにてアンケート回答入力依頼

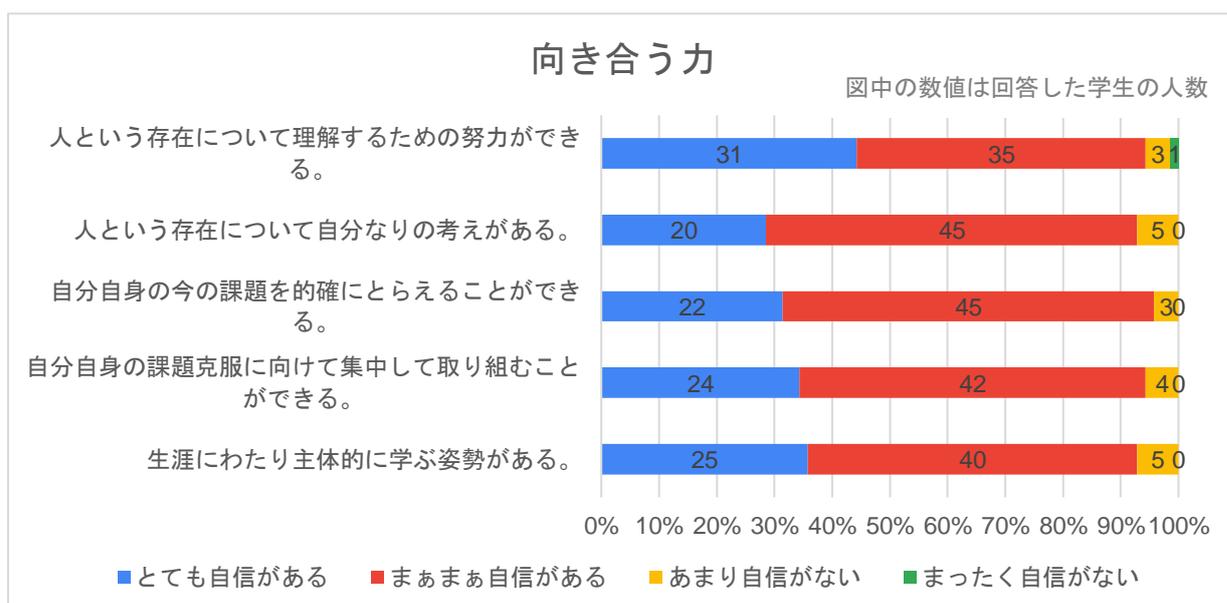
回収率：95.9%（70名/73名）、有効回答率 100%

I. 結果：

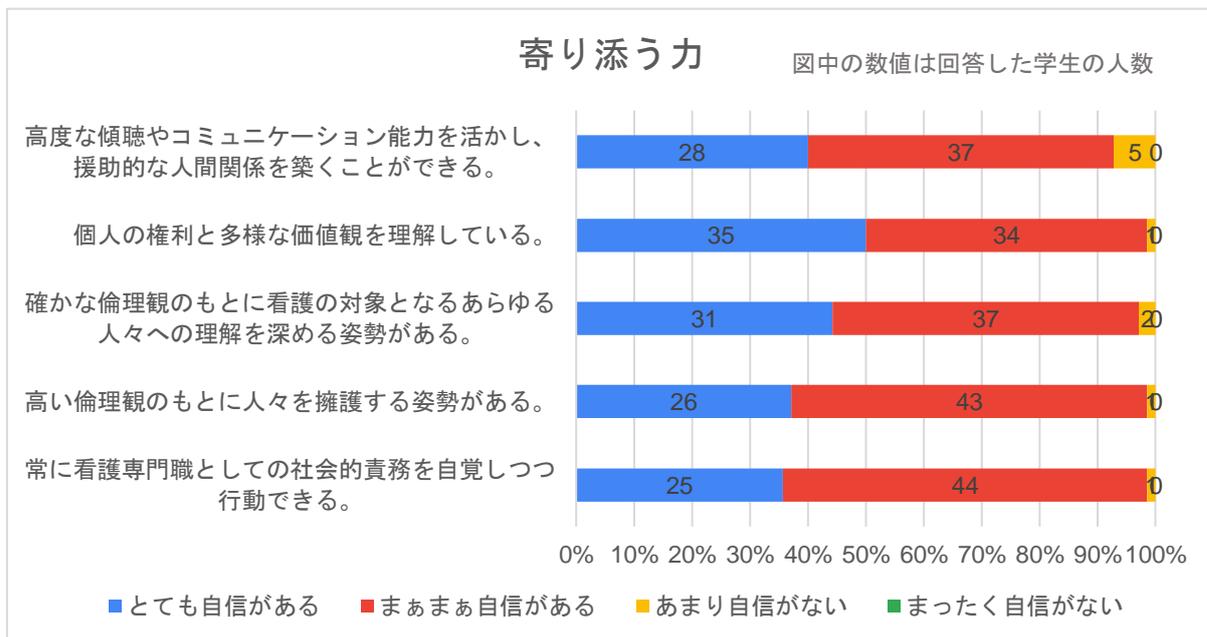
1. 教育目的、人材育成の方針、育成する5つの「看護力」の周知



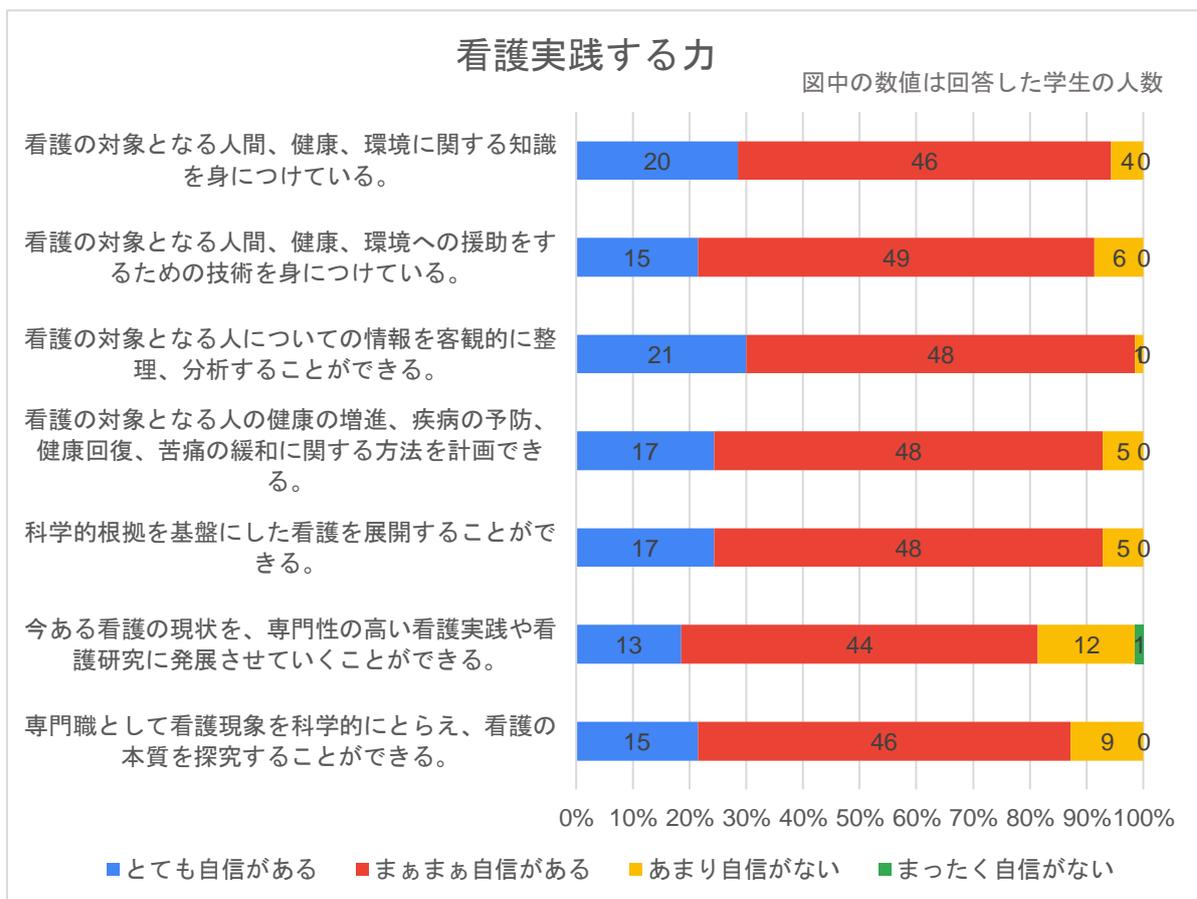
2. 「向き合う力」について



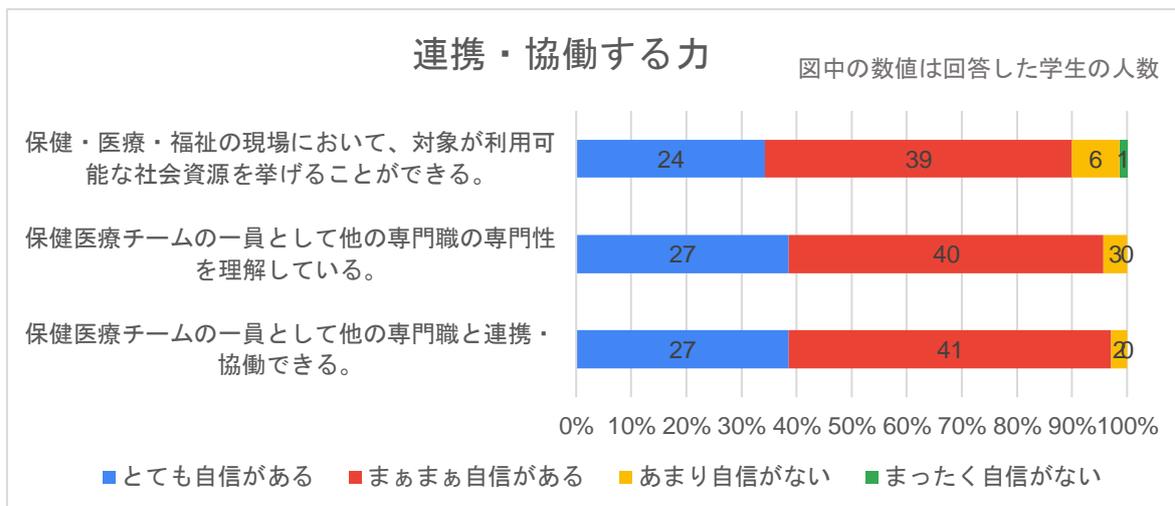
3. 「寄り添う力」について



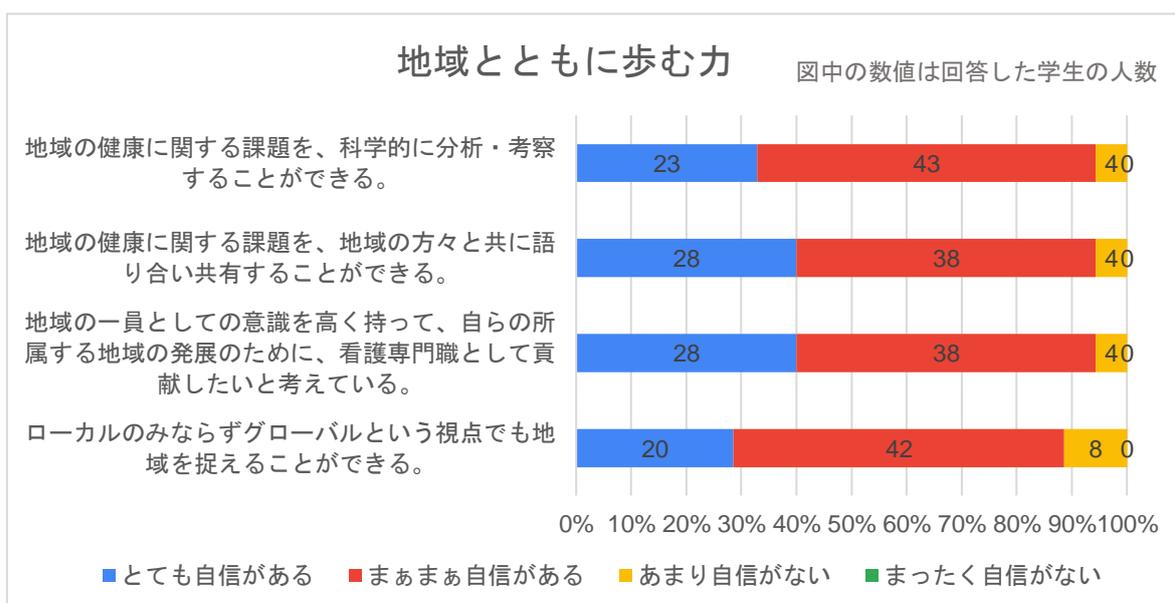
4. 「看護実践する力」について



5. 「連携・協働する力」について



6. 「地域とともに歩む力」について



II. 考察：

- ・今年度も昨年度同様、看護師資格申請書類に関する説明会の日にアンケートを実施した結果、十分な回収率が得られた。
- ・学生便覧やHPで、「教育目的」「育成する5つの『看護力』」「人材育成の方針」について認識しているかについて、昨年の結果と大きな変化はなく、概ね認識できている。
- ・5つの力については、どの力についても80%を超える学生が「とても自信がある」「まあまあ自信がある」と回答しており、本学のカリキュラムの中でディプロマポリシーに適った力を身につけていると言える。

- ・ただ、【看護実践する力】における、「今ある看護の現状を、専門性の高い看護実践や看護研究に発展させていくことができる」および「専門職として看護現象を科学的にとらえ、看護の本質を探究することができる」については、「あまり自信がない」「まったく自信がない」が増えている。これは卒後、臨床経験を積むことで探求したい事象に触れたり、探求心が強まる可能性が高く、卒後の変化に注目したい。
- ・今年度より本アンケート項目を変更したが、ディプロマポリシーに応じた力を身につけることができたかを評価するには適した項目であったと考える。キャリア支援委員会でも同様の項目を卒後生を対象に調査することで、本学で身につけた力が卒後どのように変化するのか評価しやすいため、次年度も今年度と同様の調査項目を用いる。

以上